

学校栄養教育実習Ⅰ（事前事後指導）

	到達目標	A(100点)	B(80点)	C(60点)	D（1つでもあてはまれば 不合格）
1	学校栄養教育実習Ⅱ（以下教育実習とする）での実習先における教材研究や資料収集などの授業準備を通して授業実践への方法論を適用することができる(G)	栄養教諭の職務内容、食に関する指導の概要および教育実習での実習内容を説明でき、教材研究と周辺の情報収集など、授業実践にむけた指導案等の作成を教育の方法論を適用して主体的に準備できる。	栄養教諭の職務内容、食に関する指導の概要および教育実習での実習内容を理解でき、教材研究や授業実践にむけた指導案等の作成ができる。	栄養教諭の職務内容、食に関する指導の概要および教育実習での実習内容を理解でき、教材研究や授業実践にむけた指導案等の作成が教員の支援のもとにできる。	栄養教諭の職務内容、食に関する指導の概要および教育実習での実習内容を理解できず、授業実践にむけた指導案等の作成ができない。
2	学校栄養教育実習Ⅱの成果発表を実施し、児童生徒の今日的課題、栄養教諭の役割について具体的に述べることができる(G)	学校栄養教育実習Ⅱで自らが行った教育実習の内容、授業実践および研究課題を発表するため、みずからの授業実践を振り返り、栄養教諭としての専門性をふまえた食に関する指導を考察できる。またレジュメやスライドをもちいてこれらの要点を説明し、実習の内容に関して他者との質疑に自らの見解を述べることができる。	学校栄養教育実習Ⅱで自らが行った教育実習の内容、授業実践および研究課題を発表するため、みずからの授業実践を振り返りができる。またレジュメやスライドをもちいてこれらの要点を説明し、実習の内容に関して他者との質疑に自らの見解を述べることができる。	学校栄養教育実習Ⅱで自らが行った教育実習の内容、授業実践および研究課題を発表するため、みずからの授業実践を振り返りができる。またレジュメやスライドを教員の支援のもとに準備し、要点を説明できる。	学校栄養教育実習Ⅱで自らが行った教育実習の内容、授業実践および研究課題の振り返りやレジュメやスライドを用いた説明ができない。
3	授業に参加し相互に作用することで、自分や他者の今後の課題を述べ、自らの展望を述べることができる(G)	学校栄養教育実習Ⅱで自らが行った教育実習の内容から、栄養教諭としての専門性をふまえた食に関する指導に関して現在の自分の課題を今後教員として持つべき資質と照らして見解を述べることができ、他者や教員の意見や質問から今後の活動に発展する意欲を表明することができる。	学校栄養教育実習Ⅱで自らが行った教育実習の内容から、栄養教諭としての専門性をふまえた食に関する指導に関して現在の自分の課題を今後教員として持つべき資質と照らして見解を述べることができる。	学校栄養教育実習Ⅱで自らが行った教育実習の内容から、栄養教諭としての専門性をふまえた食に関する指導に関して現在の自分の課題を今後教員として持つべき資質と照らして見解を教員の支援のもとに述べることができる。	学校栄養教育実習Ⅱで自らが行った教育実習の内容から、栄養教諭としての専門性をふまえた食に関する指導に関して現在の自分の課題を述べることができず、今後の活動に発展する意欲をもつことができない。